

# 来週の『売り物』記事はこれ



2016年4月8日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 「ジャンプ人生 道半ば 40歳、船木和喜の挑戦」 10日(日)



1998年長野冬季五輪スキージャンプの個人ラージヒル、団体で金メダルを獲得し、日本を熱狂させた船木。今月27日に41歳になりますが、今も現役選手として飛び続けています。その傍ら、代表を務める会社で食品事業を展開し、売り上げから子どもに贈ったジャンプ用具は5000点超。他にも札幌市近郊の山に子ども用のジャンプ台を作るなど、競技の裾野を広げる活動に取り組んでいます。「ジャンプは日本のお家芸」というイメージとは裏腹に、選手を擁する企業は年々減っているのが実状で、船木の心には、このまま企業スポーツの形態をとり続けられれば、ジャンプは先細りするという危惧があるのかもしれない。国内の大会が主戦場となって久しい船木ですが、「選手としての目標は五輪でもう一度メダルを取ること」。そして同時に「第2、第3の人生はスタートしている」。競技者の枠にとどまらない「反主流派」船木の姿を追いました。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## 「不祥事続きは首脳陣の責任」だ

### 広岡さん、古巣の巨人軍をしかる

夕刊2面特集ワイド 11日(月)



プロ球界で不祥事が続いています。「プロとは何かを知れ」。巨人OBで名将といわれた広岡達朗さん(84)を訪ねると、愛する古巣と球界に対するおしかりの言葉がとまりません。しかも、怒りの矛先はとぼくなどにかかわった選手だけでなく、監督やコーチ陣にも向かいます。「指導者の責任」とは何なのか、熱く語っています。

## 「My Way わたしの生き方」 おんなのしんぶん 10日(日)

各分野で活躍する女性にインタビューし、しなやかでたくましく生きる姿に迫る新企画。初回は、モデルで女優の桐島かれんさんです。神奈川・湘南で生まれ、上智大学を経て資生堂イメージキャラクター、ボーカルデビュー、結婚、出産、そしてインテリア雑貨を扱うライフスタイルショップ開店。51歳を迎えた現在までの歩みを振り返ってもらいます。読めば元気が出る記事です。ぜひご一読ください。



## 女の気持ち「学費未納で除籍」特集 くらしナビA面 13日(水)



「学費を納められず、娘が大学を除籍になりました」。3月31日の「女の気持ち」欄に掲載された55歳女性の投稿は、大きな反響を呼びました。母子2人で懸命に生きてきて、ようやく入学した大学。会社を解雇され、娘が除籍された母は「学びたい若者の希望をかなえられる社会になりますように」と願っています。どのような対策があるのかを考えます。

「赤ちゃんは3日分のお弁当を持って生まれてくる」と言われてきましたが、この考え方が適切な授乳指導の妨げになっているケースもあります。出産直後に母乳を出すことを強いられる母親の負担は大きいのが現実。「粉ミルクを与えないリスク」も指摘されています。母子の安全が見失われた事例を紹介し、望ましい母乳育児の姿とサポート方法を探ります。



## 増田明美さんに聞く

### マラソン代表選考 明日への課題

オピニオン面 【そこが聞きたい】 14日(木)

リオデジャネイロ五輪の男女マラソンに出場する代表選手6人が決まりました。代表選考といえば、昨夏の世界陸上女子マラソン代表に有力選手が漏れたことから公平性をめぐって議論を呼ぶなど、物議を醸してきました。今回は問題がなかったのでしょうか。五輪選手として、スポーツジャーナリストとしてマラソンを知り尽くした増田明美さんじっくり聞きました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。